

平成25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間:2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
 します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
 たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
 だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 金沢市立新神田小学
校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一
貫教育

育学校 中学校 高等学校 中等教

教員養成 技術/職業教育
 その他()

住所 〒921-8013
石川県金沢市新神田1-10-58

E-mail : shinkanda-e@kanazawa-city.ed.jp

Website : <http://cms.kanazawa-city.ed.jp/shinkanda-e/>

児童生徒数: 男子 191 名 女子 188 名 合計
379名

児童・生徒の年齢 6歳～ 12 歳

2. 担当者

※公表しません

3. 実施活動(複数選択可)

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付資料ではなく本報告書にご記入願います。

《1年生 季節と遊ぼう》

春には虫さがし、夏には校庭にある葉っぱでかんむり作り、秋には松ぼっくりやどんぐりを使っておもちゃやリース作りをした。1年間を通して身近な自然にふれ、観察したり、自然物を使って工夫して遊んだりする中で、自然のおもしろさや不思議さ、季節の変化と自分たちの生活のかかわりに気づき、遊びや生活を楽しむことができた。

《2年生 まちをたんけん 大発見!》

地域を探検し、身近にあるコンビニやパン屋、銀行、楽器店、動物病院などをグループで訪問し、見学したり、お店の人にインタビューをするなどして調べたり、公共物や公共施設を利用したりする活動を行った。活動後は、グループごとに発見したことを絵や写真、言葉で発表し合う中で、自分たちの生活が地域の人々や場所と深くかかわっていることに気づき、地域に親しみや愛着をもって進んで交流することができた。

《3年生 ぼくたち、犀川探検隊!～四季の変化を感じながら～》

地域に流れる犀川を探検したり、水生生物などを調べたりする活動を通して、犀川を愛する気持ち、そのよさを守っていこうとする態度が育った。また、地域の芝寿し工場について調べ、工場見学や寿し作り体験を通して、人々の思いや願いが込められていることに気づくとともに、自分の地域のよさを理解し、伝統を守ろうとする心情を持つことができた。

《4年生 共に生きる「命 見つめて」》

視覚障害者のための施設で点字について学習したり、実際に視覚障害者の方と交流したりすることを通して、地域にいるお年寄りや体の不自由な方への理解を深める学習を行った。共に生きていくために自分たちにできることを考え、調べたことを伝え合い、実行したり発信したりすることができた。また、毎日の飼育活動を通して命の大切さについても考えた。

《5年生 いいね! 郷土の食材 金沢の自然を学ぶ》

いろいろな加賀野菜を調べたり、へた紫ナス、打木甘栗かぼちゃ、五郎島金時を育てたりする活動を通して、郷土の自然や野菜を大切に思い、それを、守り伝えていくために自分の生活を見直したり、自分にできることを考えたりした。金沢の自然の特色を調べ、守られている意味を考え、金沢の自然を大切にしようという心が育った。

《6年生 人とのつながり 金沢の歴史・文化を学ぶ》

金沢の歴史や文化に興味を持ち、兼六園や金沢城公園、金沢の地名の由来となった金城麗澤や金沢神社付近、観光物産館などを「まいどさん」とともに廻り、その見学や体験学習を通して発見したこと、分かったことを、表現したり発信したりすることができた。また、よりよい学校づくりをするために、友達や下級生、地域の人々とのつながりを大切にしようとする意識を持って主体的に活動することができた。

《特別活動を通して》

①児童会活動（縦割り活動）

- なかよしクリーン(無言清掃) ○なかよしウォークラリー
- なかよしあいさつ運動(年間) ○「心の日」(年4回)
- ボランティア活動(7月・・・地域の公園の清掃活動)
- 「絆活動の日」(1月・・・小中合同あいさつ運動)
- 地域の方々への「ありがとうの会」(感謝のプレゼント作り)

縦割り活動や様々な人とのかかわりを通して、互いに思いやる心や協力してよりよい生活を築こうとする心が育った。

②福祉教育・環境教育

- プルタブ、ペットボトルキャップ、ベルマーク、書き損じはがき、使用済み古切手の収集活動

環境を守り、再利用できる資源を大切にするとともに、困っている人の役に立つことを学び、自分にできることを考え、行動することができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ✓ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- ✓ 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- ✓ その他（児童会環境委員会の活動として実施）